

平成27年度事業報告

1・社会福祉法人 杉の子

<制度の改革>

- ・平成28年3月31日社会福祉法改正が成立し、当法人の所轄庁は東海北陸厚生局から静岡県知事に変更となります。
- ・公益的な取組については、日常生活又は社会生活上の支援を行うために低額な料金で福祉情報サービスの提供等、又本人や家族が相談できるふれあいの場として提供していきます。

<情報開示>

- ・平成27年度は平成26年度の事業報告及び財務等に関する現況報告書をホームページに情報開示致しました。28年度は改正に伴い、事業運営の透明性を向上します。

<事業廃止>

- ・平成27年11月1日付け、焼津市、小規模多機能型居宅介護事業の廃止

<定款変更申請>

- ・第二種社会福祉事業、「小規模多機能型居宅事業の経営」事業廃止
平成27年12月9日付け、東海北陸厚生局長より定款変更認可

<監査・理事会・評議員会>

1) 監事監査の実施

平成27年5月14日（法人及び施設の会計、業務監査）

2) 理事会の開催

第1回 平成27年5月24日（日）

「議決事項」

- 第1号議案、平成26年度事業報告及び決算報告、監事監査の実施報告
- 第2号議案、苦情対応取扱規程の変更

第2回 平成27年9月23日（水）

「議決事項」

- 第1号議案、小規模多機能型居宅介護事業の運営廃止
- 第2号議案、定款の変更

第3回 平成27年11月29日（日）

「議決事項」

- 第1号議案、役員及び評議員の報酬に関する報酬規程の変更
- 第2号議案、平成27年度第1次補正予算
- 第3号議案、特定個人情報等取扱規程の新設
- 第4号議案、就業規則の変更
- 第5号議案、非常勤職員就業規則の変更
- 第6号議案、運営規程の変更（片岡杉の子園）

第7号議案、杉の子介護職員初任者研修学則の変更

第4回 平成28年3月27日（日）

第1号議案、平成27年度第2次補正予算

第2号議案、平成28年度事業計画及び当初予算

第3号議案、就業規則の変更

第4号議案、給与規程の変更

第5号議案、人事考課規程の変更

第6号議案、経理規程の変更

第7号議案、継続雇用制度に関する規程の変更

第8号議案、運営規程の変更

第9号議案、定款の変更

第10号議案、評議員の任期満了に伴う改選

第11号議案、理事長の選任

第12号議案、理事長の職務代理者の選任

3) 評議員会の開催

第1回 平成27年5月24日（日）

「議決事項」

第1号議案、平成26年度事業報告及び決算報告、監事監査の実施報告

第2号議案、苦情対応取扱規程の変更

第2回 平成27年9月23日（水）

「議決事項」

第1号議案、小規模多機能型居宅介護事業の運営廃止

第2号議案、定款の変更

第3回 平成27年11月29日（日）

「議決事項」

第1号議案、役員及び評議員の報酬に関する報酬規程の変更

第2号議案、平成27年度第1次補正予算

第3号議案、特定個人情報等取扱規程の新設

第4号議案、就業規則の変更

第5号議案、非常勤職員就業規則の変更

第6号議案、運営規程の変更（片岡杉の子園）

第7号議案、杉の子介護職員初任者研修学則の変更

第4回 平成28年3月27日（日）

第1号議案、平成27年度第2次補正予算

第2号議案、平成28年度事業計画及び当初予算

第3号議案、就業規則の変更

第4号議案、給与規程の変更

第5号議案、人事考課規程の変更

第6号議案、経理規程の変更

第7号議案、継続雇用制度に関する規程の変更

第8号議案、運営規程の変更

第9号議案、定款の変更

第10号議案、役員任期満了に伴う改選

平成27年度事業報告

2 片岡杉の子園

<施設全体>

利用者様のご家族やお友達が毎日気軽に訪ねてきてくださり、相談員を中心に慰問者を積極的に受け入れたこともあって、来園者数がとても増えました。

また、1階フロアの照明をLEDに変えたこともあって施設内の雰囲気明るくなりました。

来園してくださる方々から「家庭的な雰囲気ですね」「利用者さんたちの表情がいいですね」と言葉を何度かいただくことができました。

法人の理念に添って、利用者様や地域に貢献できる施設づくりを、職員が意識し取り組んだ成果ではないかと思えます。

転落事故については施設設備の安全対策をおこない、職員間で事故防止の話し合いを重ね今後の事故防止に備えました。

<ボランティアの状況>

平成27年度は下記の個人・団体の方にご協力いただきました。 (順不同)

平井幸子様・山口和一郎様・佐藤ちえ様・久保田智恵子様・あじさいの会様
新緑会様・吉田町歌唱クラブ様・笑座 楽し舞歌様・松下けい子様
トライアド様・川本静栄様・愛唱会様・戸塚城鳳様・シルバーウィングス様
静岡県歯科技工士会様・ピーマンクラブ様

<寄付者一覧>

平成27年度は下記の法人個人の方からご寄付をいただきました。 (順不同)

(株)エンチョー様・山田清枝様・JAハイナン様・福井一江様・野中正志様
片岡西町内会様・大石清吉様・村松三十里様・吉永京子様・小林紀子様
片岡自治会様・広瀬英夫様・村田宇一様・増田恒子様

1 介護老人福祉施設

- ・ リスク委員会では職員が提出した「ヒヤリハット」「事故報告」の中から毎月気になるケースについて話し合い、職員間で情報を周知しました。
- ・ 利用者様の延命に関する内容について、嘱託医と連携し、利用者様やご家族のお気持ちに寄り添えるよう努力しました。また、今後の課題について職員間で話し合い研修していきます。
- ・ 歯科医師の指示のもと歯科衛生士を中心になって毎日の口腔ケアを実施し、昼食前には口腔体操を毎日続けています。
- ・ おやつ作り、混ぜご飯づくり、バイキング等、毎月食事のイベントを食事委員会中心に実施しました。
- ・ ソフト食、ゼリー食を導入し、味だけでなく見た目にも魅力的な食事を提供し、誤嚥性肺炎を予防することができました。

- ・ 施設内の壁面づくりを利用者様と一緒に季節ごとに作成し楽しみました。

2、短期入所介護

- ・ 利用者様やご家族様の希望に沿った支援ができるように、各事業所や関連部署との連携を図りサービス計画書に基づいたサービス提供を行いました。
- ・ 施設内の安全確認を行い、設備工事を実施しました。

3、通所介護

- ・ 利用者様が笑顔でおしゃべりしやすい環境づくりや職員の意識改革に努めました。
- ・ 理容サービスを導入し、利用者様が気持ちよく過ごせるお手伝いができるようにしました。

4、地域密着認知症体応型通所介護

- ・ 稼働率 80%を超える月がありました。今後もより良いサービスを提供し稼働率を上げていきます。
- ・ 内部研修に取り組み職員の意識や能力の向上に努めました。

5、居宅介護支援

- ・ 利用者本人の能力を生かしながら、適切な介護保険の利用をしていただけるようにフォーマル・インフォーマルサービスの活用を努めました。
- ・ 各サービス提供事業所の特色や対応等の情報を丁寧に説明し、利用者本人に合ったサービスを選択できるよう支援しました。
- ・ 介護保険制度遵守、更なる専門知識の向上を目的として内外の研修へ積極的に参加しました。

平成27年度 事業報告

3 中央本町杉の子園

施設全体

法人の運営理念、経営理念に添って事業を推進し、利用者様の心身の状況等に応じて、常にサービスを受ける方の立場にたった適切な介護サービスの提供に努めました。

施設運営においては、「安心・安全・快適」を理念におき、今年度の重点目標に掲げた、利用者様に満足と安心を与えることのできる適切な介護サービスを提供するために、積極的に職員を研修に参加させ、専門的知識・技術の向上を図りました。また、今年度は介護報酬の改定が行われ、大変厳しい改定内容となりましたが、計画に沿った予算執行を職員全員が意識し、目標の稼働率を割らないよう努めるとともに、経費節減にも努め、適正な利益を確保することができました。今冬には全国的にインフルエンザが猛威となりましたが、早期から感染予防対策に努め、感染症の発生・蔓延を防止することができました。

ボランティアの状況

平成27年度は、下記名の個人・団体の方にご協力いただきました。

吉池 節子様、落合 美智子様、田原 次子様、山口 あや子様、
山本 恵美子様、川辺 繁子様、藤塚 千代子様、梅田 隆喜様、
松木 寿子様、須田 和宏様、米田 万里子様、佐々木 レイ子様
安島 節子様、渡邊 マスミ様、吉野 妙子様、川名 千枝子様、
森本 弘子様、坂本 愷子様、徳永 美津江様、神田 美代様、
諏訪 とし子様、平出 珠江様、高尾 正子様、箱守 賢治様、
平野 慈瑛様、八重の会様、梅島二丁目町会婦人部様、ハッチポッチ様

(順不同)

寄付者一覧表

平成27年度は、下記の個人・団体の方からご寄付を頂きました。

中央本町4丁目町会、中央本町5丁目町会、高須 三喜男様、
本間 健様、小松 裕子様、太田 佐和子様、浅古 有文様、
花井 和子様

(順不同)

1 介護老人福祉施設

- ・多職種がチームとしてケアマネジメントに積極的に関わりを持つようにな

り、朝礼後のミニカンファレンス等、ケースを絞って検討する機会を多く持てました。

- ・個別ケアへの取り組みとして担当介護職を中心にモニタリング・アセスメントの充実を図り、自分らしい生活の実現に努めました。
- ・全体リスク勉強会では外部講師を招き、「リスクアセスメント」への理解を深め、個別リスクの把握と対処について職員一人一人が再確認出来ました。
- ・利用者様の個別ニーズに応じて、外出支援に積極的に取り組む事ができ、多くの「笑顔」に触れる機会が持てました。
- ・感染委員会を中心に早期からの湿度調整・換気・手洗い等の感染予防対策を講じ、感染症予防に努めました。

2 短期入所生活介護

- ・利用者様、ご家族、介護者に対して、利用に関する契約内容を記載した契約書等の説明を行い、これを理解の上、安心してご利用して頂けるように取り組みました。
- ・利用者様の心身の状態を把握し、万一ご利用中に状態変化があった場合は、速やかにご家族へ連絡し、迅速な対応をさせていただきました。
- ・毎回の送迎を相談員が対応する事により、施設でのご様子をご家族、介護者により詳しくお伝えできるようにしました。
- ・季節行事等の園内活動にもご参加いただき、社会的交流の中で楽しみを見つけていただく事ができました。
- ・区内の居宅事業所への訪問や短期入所独自のパンフレットを作成し、利用率向上に努めました。
- ・高齢者虐待等により保護を必要とする緊急ショートステイの受け入れを積極的に行いました。

3 通所介護

- ・ご家族や介護支援専門員との連絡を密にとり、利用者様に合った通所介護計画書を作成、説明し、実施できるよう努めました。
- ・利用者様から要望を伺いながら、一年間の大きな行事や毎日の活動をより一層充実させ、一日を楽しくお過ごし頂けるよう取り組みました。
- ・朝と帰りの送迎時や園外活動等の車の運転には充分注意し、安心してご乗車いただけるよう安全運転で対応させて頂きましたが、車両事故も発生してしまいう事がありました。
- ・利用者様個々の身体状況を踏まえて、自立支援の介助や個別機能訓練を充実させ、在宅生活を継続できるように支援させて頂きました。

4 訪問介護

- ・地域高齢者が住み慣れた地域の中で、安心、自分らしい在宅生活を維持、継続出来るよう介護・福祉・医療の専門職や地域包括、福祉事務所などの関係機関と連携を密にとりながらご利用者への真の自立支援を実現するサービス提供を行いました。
- ・ご利用者への質の高いサービスを継続的に実現させるために、事業所内での定期研修に参加できる環境を整えました。また、外部のヘルパー研修の参加を促し、介護員全体のスキルアップに努めました。
- ・苦情、要望の受付をサービス向上、改善の絶好な機会と位置付け、苦情、要望に関わる相談の受理後、組織全体で連携を密にしつつ、迅速にかつ丁寧に対応しました。

5 居宅介護支援事業

- ・利用者様、ご家族はもとより、事業所・行政・地域から信頼される事業所をめざし、中立・公平な立場で利用して頂ける様努めました。
- ・地域包括ケアシステムの充実により、介護保険の基本的理念、自立支援を観点に利用者様が安心して在宅生活が営めるよう医療・介護・他職種が協働、役割分担を明確に連携を強化しました。
- ・要介護者と認定された利用者様には、アセスメントからその方のニーズに応えられる居宅サービス計画書を作成しました。
- ・要介護者と認定された利用者様には、ニーズに応えられる居宅サービス計画書を作成しました。
- ・居宅サービス計画が適正であるか、サービス担当者会議を通じて利用者様・ご家族、及び介護者からのご意見を戴き、サービス事業者からの情報収集に努めました。
- ・利用者様、ご家族の苦情はサービス改善に発展させていくために、情報収集し、利用者様、ご家族の立場にたち、迅速な対応に努めました。
- ・介護支援専門員として、職種の専門性を高めるため、区や都の研修には積極的に参加し、研鑽に努めました。

6 地域包括支援センター

- ・介護・医療保健・福祉についての高齢者の総合相談窓口として、中立性・公正性に留意し、地域住民の方々、行政、専門機関と協力しつつ、地域に密着した相談支援を実施しました。
- ・精神疾患、高齢者虐待等に関わる処遇困難ケース対応、また行政・関係機

関と連携しての成年後見申し立て支援等、高齢者に関する権利擁護の取り組みをおこないました。

- ・認知症サポーター講座や介護予防教室などを地域学習センターや住区センター、団地老人会の方々と連携し、地域で定期的に行いました。スポーツ施設や行政所管課と協力体制を構築しつつ、介護予防プログラムの普及啓発に努めました。

平成27年度 事業報告

4 住吉杉の子園

<施設全体>

平成27年度は、介護人材確保がスムーズに行う事が出来ず。介護の質向上を目指して立ち上げた委員会が上手く機能する事がなかった、さらに開園以来続けてきた夏祭りの開催を中止せざるおえない状況になった事も残念な出来事であった。しかし、少ない人数の中でも自分達ができる活動や、施設防災の日など大きな行事を成功させる事ができ、職員の大きな力を感じる事が出来た一年でありました。

<ボランティア状況>

平成27年度は下記の個人・団体の方にご協力いただきました。(順不同)

鈴木美津子・岡田智行・三輪和子・北川正人・藤波保・清流館高等学校ダンス部・吉田町母子寡婦福祉会・月丘スターズ・水島誠次・鈴木訓子
佐々木恵美子・足立真由美・原木信子・藁科峰子・吉田光美・五木真理子
岩堀晃男・榛原太鼓保存会・鈴木四郎・松琴会・桜井章司・ちどり幼稚園

<寄付者一覧>

平成26年度は下記の個人・団体の方からご寄付をいただきました。(順不同)

中山千史・名波まり子・良知せつ子・山八地区婦人部・新田地区婦人部
廣瀬英夫・住吉自治会・住吉区民生委員

1) 介護老人福祉施設

- ・24時間シート委員を設置し、運用にまでは行かなかったが住吉の24時間シートのホームマットを作成する事が出来ました。
- ・看取りについては、特にエンゼルメイクに力を入れる事が出来ました。メイク道具を準備し、旅立ちのお手伝いをしました。
- ・夏祭りが中止になった為、敬老行事を盛り上げようと、利用者様・ご家族と一緒にバーベキューをして楽しい時間を過ごす事が出来ました。
- ・介護職員が、一人1企画として、アイデアを出し食事や外出など利用者様と共に楽しむ行事を実行しました。
- ・「施設防災の日」では、消防署の指導にて火災・地震の訓練さらに地震体験車やAEDの操作などの体験を行い防災の意識を高める機会となりました。

2) 短期入所生活介護

- ・利用者様に人気がある、行事食を計画的に実行しました。行事食の時に利用したいと利用者様からの問い合わせが入る程PRをする事も出来ました。

- ・医療行為者の受け入れ拡大を見越して、本年も痰の吸引等の研修に1名を参加させる事ができました。

- ・短期入所利用者様に対して、初めて地域のサービスと連携して看取りケアを実践する事ができました。

3) 通所介護

- ・カルチャーの日では、持ち帰って頂ける作品づくりを積極的に行った結果、作品作りに興味を持って頂ける利用者様が増えました。

- ・カルチャーを日の企画を、職員一人ひとりが行う事によって、レクリエーションの内容が向上しました。

- ・慰問の方に月2～3回のペースでお越しいただき、利用者様に楽しんで頂く企画を行う事が出来ました。

- ・ケース会議を定期的で開催し、統一したケアへと一歩前進をしました。

- ・さんまを炭火で焼くなど季節に合わせた、食事を意識して提供をする事ができました。

平成27年度 事業報告

5 杉の子介護初任者研修事業

平成27年度開講の新たな事業でありました。2回開催の予定であったが、定員割れをしてしまった為下期の1回のみ開催となりましたが、受講生の中から、住吉杉の子園の非常勤職員として勤務した頂く事が、事業の目的の一つであった人材の確保に繋がる事のできました。

第1回 平成27年5月16日から平成27年7月25日 中止

申込者 6名

第2回 平成27年9月26日から平成27年12月19日 開催

受講生 7名

平成27年度事業報告書

6 小規模多機能型ホーム杉の子園

平成27年4月1日事業所の運営開始、登録者定員 20名
運営開始から6ヵ月を経過しても職員の採用が低迷し、(現況常勤3名、非常勤1名)登録利用者数も3名と少ないことから、今後運営していくには財政上のリスクも多く平成27年9月23日理事会を開催し事業運営継続についての議案を上程し、事業廃止の決議となりました。直近の登録者は3名であることから他の事業所への利用する理解を得て、平成27年11月1日付けで事業廃止届を焼津市役所へ申請し受理されました。
平成28年3月31日決算期の収支は、経常増減額は△16,624,863円となります。